

# 釧研講座5 「釧研研究部の授業」を振り返って

6月20日（水）標茶町立標茶小学校

釧研講座5「釧研研究部の授業」として釧路教育研究所の授業公開を標茶小学校で行いました。今年度は、昨年度からスタートさせた釧研の研究理論に基づいて、小学校6年生算数科「速さ」の授業を4つのコースに分けた少人数指導で行いました。

今年度の研究の視点は

### 《単元計画の工夫》

- ① 各教科等の特質に応じた見方・考え方を意識した学習活動の設定
- ② 深い学びに迫る「学びの地図」を用いた単元構成の工夫

### 《学習過程の工夫》

- ① 子どもたちが目的意識をもって取り組める問題場面や課題の設定
- ② 協働を通して、自分の考えを広げ深める学習活動の工夫
- ③ 次の学びにつながる振り返りの工夫



の5つの要素を取り入れたものです。

今回は、本時の授業での工夫（・印）と成果（◎印）を合わせて紹介していきます。

### 単元計画の工夫① 各教科等の特質に応じた

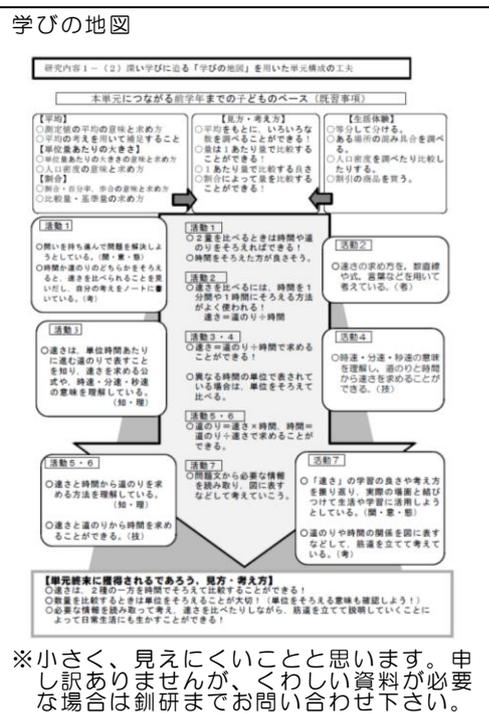
#### 見方・考え方を意識した学習活動の設定

- ・異種の2量の一方をそろえて比較するという単位量あたりの基本的な考え方・関係に着目し、目的に応じて、数直線等を使って大きさを比べたり、表現したりする方法を考察した。さらに、それらを日常生活に生かし、発展的に考える素地となることを狙った。
- ◎各教科の見方・考え方について様々な方向から検証していく中で、それぞれの特質が見えてきた。また、授業づくりにおいて、何を大切にしながら土台を作っていくか、単元のめざすところを明らかにすることができた。

### 単元計画の工夫② 深い学びに迫る「学びの地図」を

#### 用いた単元構成の工夫

- ・単元終末に獲得されるであろう資質・能力を「速さは2種の一方を時間でそろえて比較することができる」「数量を



比較する際、単位をそろえることができる」などとし、そのために必要な7つの活動を設定した。

◎「学びの地図」を作成することが大変有効であることが分かった。作成することによって授業者自身も曖昧になっていたことを明確にすることができた。ゴールを明確にもつことで、ねらいはぐくみたい力がぶれずに授業をすすめていくことができた。

### 学習過程の工夫① 子どもたちが目的意識をもって取り組める問題場面や課題の設定

- ・問題提示の前に教科書に描かれているイラストを紹介し、イラスト内のやりとりを確認することで、イメージを膨らませ、問題の意味を捉えやすいように工夫した。
- ・問題の意味を的確に捉えることができるよう、自分たちが起こりうる実際の生活場面と結び付けながら意味を捉えていった。

◎各クラスの実態に合わせて、どの授業でも目的意識をもって取り組める問題場面や課題設定の工夫をすることができた。ねらいを達成するためにどのような問題場面や課題設定の工夫が必要かを協議する中で、重要となってくることや特に意識していきたいことが明確になった。

### 学習過程の工夫② 協働を通して、自分の考えを広げ深める学習活動の工夫

- ・机間巡視をしながら、教師がノートに書かれている児童の考えを紹介したり、つぶやくことで友達の考えの興味・関心につなげ、個々の考えの広がりにつなげるようにした。
- ・個人思考から児童相互の交流となるように交流の流れを提示し、交流の視点（はやく、かんたん、せいかくに、どんなときもできる解き方）を明確にし、交流の場面を設定した。

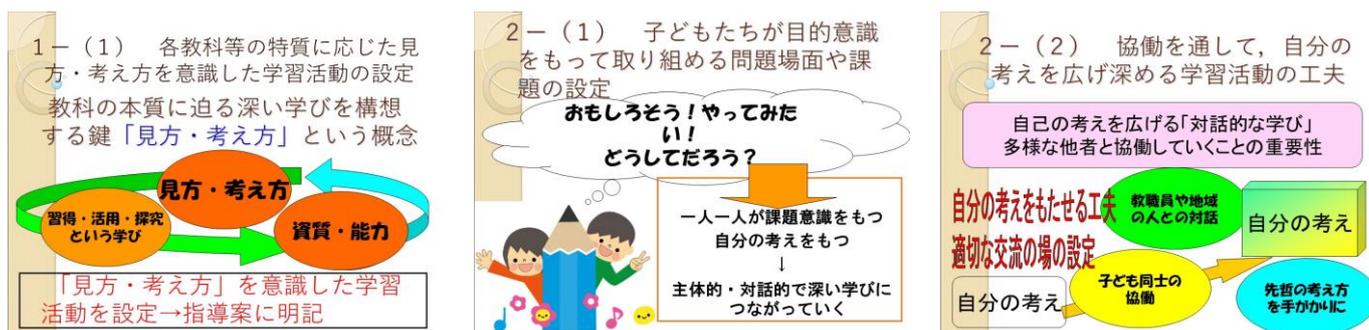
◎友達の意見を聞くことで、個々の考えが広がっていき、それを基に交流することを通して、個々の考えが深まっていく様子が見られた。自分と友達の考えを比較したり、新たな考えを生み出したりする姿も見られた。実態とねらいを大切にしながらどのような交流を行っていくかが重要であることがわかった。

### 学習過程の工夫③ 次の学びにつながる振り返りの工夫

- ・振り返りのよさを児童と再確認しながら学習意欲の向上を図った。具体的には、振り返りの仕方（振り返り例）の子どもへの提示、日常の授業からの習慣化を行ってきた。

◎振り返りの重要性を確認することができた。振り返りをした後どのように次につなげていくか、どのような効果があるのかについて検証していきたい。

今年度の研究理論については、平成29年度「釧研紀要第71集」をご覧ください。また、3月末には、「釧研紀要第72集」も発刊されます。すぐに詳細を知りたい場合には、釧路教育研究所のホームページにありますので、少しでも参考にさせていただければ幸いです。釧研講座は釧研の研究を発信できるありがたい機会です。次年度以降の釧研講座でも授業提案をさせていただきたいと考えています。次年度の釧研講座へのご参加をお待ちしています。



# 釧研講座報告2 たくさんのご参加、ありがとうございました。

今年度の釧研講座を無事終了することができました。参加された先生方のこれからの教育実践に、少しでもお役に立てるものになれば幸いです。また、講座の折にはアンケートにもご協力頂きましたこと、重ねてお礼申し上げます。アンケートでの先生方の声をもとに次年度の釧研講座を用意していきますので、たくさんのご参加をお待ちしております。

## 出前講座「学校全体で支える特別支援教育」

講座2 11月 1日(木) 厚岸町立厚岸小学校

今回は新学習指導要領と教育課程編成について、また、自立活動の計画についてお話していただきました。資料、説明がとても分かりやすく、これまで教師自身が行ってきたことについて児童生徒を思い浮かべながら振り返ることができました。14名の受講者の方々から「自立活動の考え方についてスッキリできた」「将来という視点をもって児童生徒がより成長できるように見直しをしていきたい」「最近の特別支援教育について学ぶことができ、大変良かった」など日々の指導につながる声が多く寄せられました。

## 学校防災マニュアル

講座7 8月 3日(金) 釧路工業高等専門学校

8名のみなさんの参加をいただき、ありがとうございました。講座では、1地域の危険を知ろう2学校における防災教育3避難所としての学校の3つのテーマでお話をいただきました。1つ目は、釧路地域は地震の頻発地帯であり、地震と津波のリスクの高い地域であること。2つ目は、避難訓練や防災教育の現状がどうなっているか。3つ目は、避難所として学校が担わなければならない役割が非常に大きい、準備や体制が不十分であることなどについて詳しく、わかりやすく講義をしていただきました。参加者からは、「自校の体制づくりに生かしたい」との声もあり、意義のある講座になりました。

## ミニ道研「道徳教育」「外国語教育・外国語活動」

講座8 6月19日(火) 釧路教育局

「新たな教育課題への対応」と銘打たれた半日の講座でした。前半の「道徳教育」は、「考え・議論する道徳」への質的転換に向けて、指導の工夫の在り方や自校の課題について、演習形式で進められました。異なる校種や年齢層の先生方が受講されたことで、さまざまに刺激を受ける内容となりました。後半の「外国語教育・外国語活動」では、小学校から中学校にかけての指導目標の遷移をたどりながら、各学年における指導の重点をもとに、指導方法の工夫・改善について課題を探る講座となりました。今後はいろいろな学校の実態を知りながら、自校における指導の改善を図りたいといった感想もありました。

## ミニ道研「カリキュラムマネジメント」「主体的・対話的で深い学び」

講座9 8月10日(金) 釧路教育局

午前は「カリキュラム・マネジメント」、午後は「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」の講座でした。午前は、「子ども一人ひとりの発達をどのように支援するのか」を柱に、自校や地域の課題を念頭におき、グランドデザインの構想について学びました。それらのことは午後の「主体的・対話的で深い学び」にも直接関係し、目指す子どもの姿を共有しながらグランドデザインを練っていく大切さを学ぶことができました。午後は、①各教科等の「見方・考え方」を働かせ、学習過程を重視した授業の充実を図ること②単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して、指導計画をデザインすることについて協議を行いました。単元レベル→具体的な児童の姿→本時レベルといった思考の流れで、参加者の方々も「主体的に」協議されていました。

## コンピュータ講座 ～日常業務をより効率的に～

講座10 8月 7日(火) 釧路教育研究センター

2名のご参加をいただき、ありがとうございました。講座では、「VBA 超入門」と称し、EXCELを使った作業の自動化の方法について学びました。講師の廣瀬所員による丁寧な説明や指導のもと、参加者は理解を深めることができました。マクロを組んだサンプルファイルのお土産もあり、「今後の校務の効率化に生かせる講座となった」との声をいただきました。

## 誰でもできる！書写指導 ～授業実践と技能講座～

講座11 6月27日(水) 厚岸町立厚岸中学校

行書の書き方は一通りではないうえ、技術指導の部分を含め指導の難しさがあります。中学校の書写指導について、授業公開を通して指導の視点を捉えていきました。その中で、本時のねらいの置き方や学習課題はできる限りシンプルにすることが大切であると強調されていました。単なる教科書の模写ではなく、基本となる書き方のエッセンスを与えながら、どのように書いたら良いかを生徒自身がイメージし、課題となる字を書くことで、行書を使う目的の部分にも触れることができ、とても奥深いものでした。実技は「穂先の向き」と「筆圧の変化」に着目し、それを練習できる教材を提供いただきながら取り組むことができました。日頃の書写指導の悩み相談にも答えていただき、充実した講座となりました。



## プログラミング教育 ～LEDを自由自在にあやつろう～

特別講座 12月 3日(月) 白糠町立白糠小学校



管内・市内から14名のご参加をいただき、ありがとうございました。講座では、5学年の総合的な学習の時間を使ったプログラミング教育の公開授業とプログラミング教育の進め方の説明の2本立てで行いました。公開授業では児童が「Scratch」を使ってプログラミングを行い、LEDを点灯させる基礎的な学習の後、交通信号機の動作を自分で考えてプログラミングする「プログラミング的思考」を育む課題に取り組みました。後半には、プログラミング教育の実施に向けたスケジュールや準備、留意すべき事項などの説明があり、参加者からもさまざまな質問が投げかけられました。

## 事務局通信

■珍しくまとまった積雪が続きました。そのまま根雪となりすっかり冬景色です。降雪地帯の風景を見ると、釧路の雪の少なさはありがたいと感じます。とはいえ一度にたくさん雪が積もるとあっという間に疲れてしまい、大雪の地方の人は毎日のようにこんな作業をされていてすごいと思います。これからの時期は、大雪ばかりではなくインフルエンザなどもますます心配となる時期です。子どもへの健康・安全指導はもとより、先生方も健康に留意してお過ごしください。

■釧研事業部では、次年度の研修講座の計画を立てています。参加される先生に有益な機会となるように思案しながら進めています。案内が届きましたら、ぜひご覧になって、参加をご検討ください。(事務局)

★釧路教育研究所★ 所報289号

発行日：平成30年12月

発行所：釧路教育研究所

発行者：湊谷 美樹治

URL

<http://senken.net/>

E-mail

[info@senken.net](mailto:info@senken.net) アクセス用QRコード

